

# B: 御滝不動・金杉コース

～海老川の源流・谷津田の風景を楽しもう～

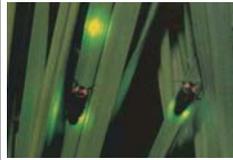
## 金杉川沿い

「高根フレンドみちくさ」が毎月草刈りを行い、環境に配慮した整備を行っています。



## ハイケボタル

7月下旬～8月中旬に観察会が行われています。



## 里山谷津田を保全活用した金杉緑地

今や80%が休耕田となっている水田を掘り起こして池をつくり、野生ホタルを復活させています。小魚やザリガニなどの釣りに楽しめます。



## 金杉緑地

急な斜面になっている雑木林。木の種類が多いため名札がついています。「高根フレンドみちくさ」の方々によりほどよい手入れがされており、季節毎に野草も楽しめます。



## 星影神社

江戸時代、幕府の軍馬の放牧地（小金原）であったこの地で、明治初めに開墾事業が行われました。「星影」の名は、この地区を担当した星野清左衛門の名にちなみ、入植者が朝まだ星が残る頃から、夕方星が出るころまで働いたことから付いたとも言われています。



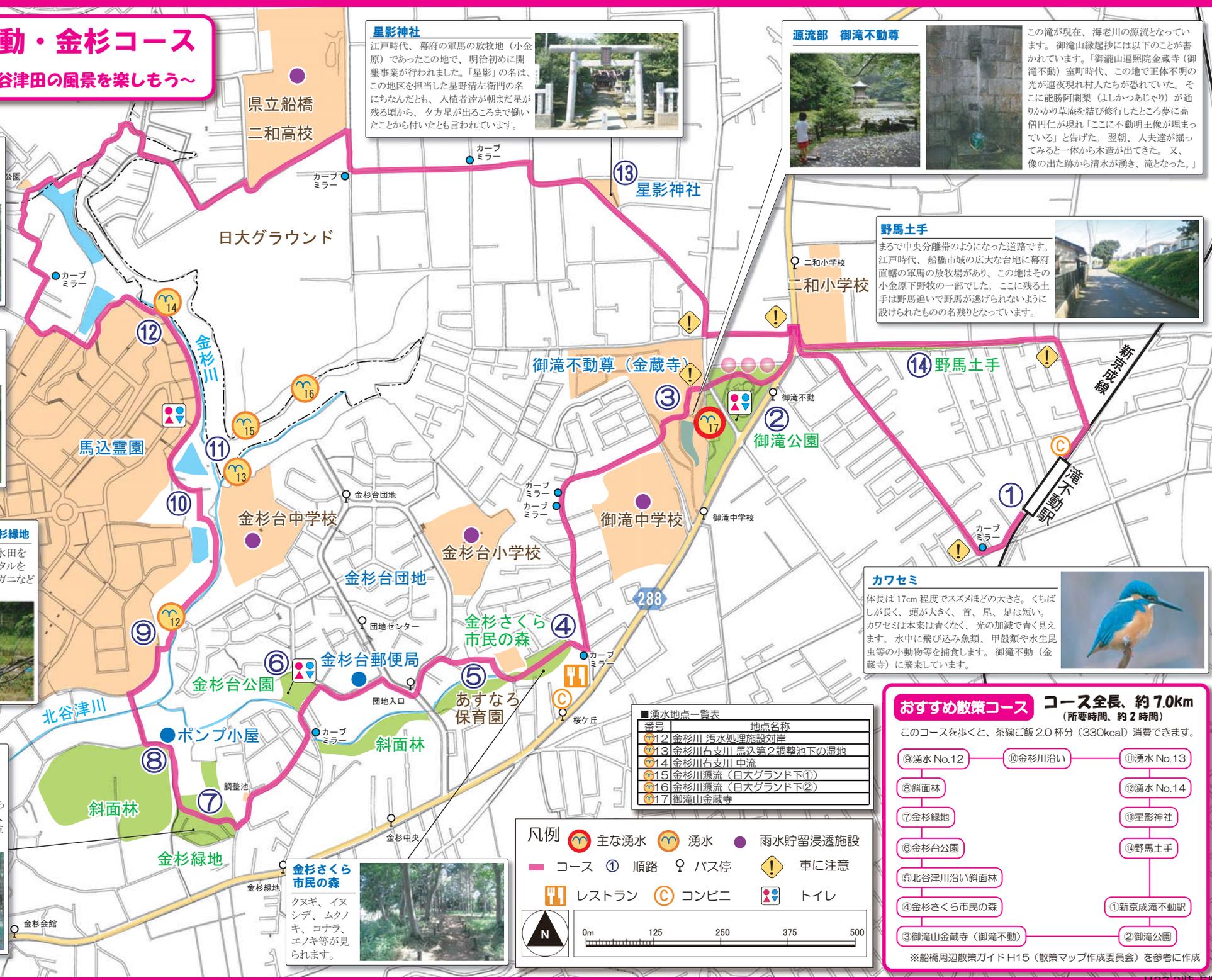
## 源流部 御滝不動尊



この滝が現在、海老川の源流となっています。御滝山縁起抄には以下のことが書かれています。「御滝山遍照院金蔵寺（御滝不動）室町時代、この地で正体不明の光が連夜現れ村人たちが恐れていた。そこに能勝阿闍梨（よしかつあじり）が通りかかり草庵を結び修行したところ夢に高僧円仁が現れ「ここに不動明王像が埋まっている」と告げた。翌朝、人夫達が掘ってみると一体から木造が出てきた。又、像の出た跡から清水が湧き、滝となった。」

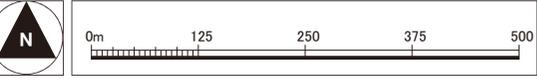
## 野馬土手

まるで中央分離帯のような道路です。江戸時代、船橋市域の広大な台地に幕府直轄の軍馬の放牧場があり、この地はその小金原下野牧の一部でした。ここに残る土手は野馬追いで野馬が逃げられないように設けられたもの名残りとなっています。



**凡例**

- ① 主な湧水
- ② 湧水
- ③ 雨水貯留浸透施設
- ④ コース
- ⑤ ① 順路
- ⑥ ② バス停
- ⑦ ③ 車に注意
- ⑧ ④ レストラン
- ⑨ ⑤ コンビニ
- ⑩ ⑥ トイレ



■湧水地点一覧表

番号	地点名称
⑫	金杉川 汚水処理施設対岸
⑬	金杉川右支川 馬込第2調整池下の湿地
⑭	金杉川右支川 中流
⑮	金杉川源流 (日大グラウンド下①)
⑯	金杉川源流 (日大グラウンド下②)
⑰	御滝山金蔵寺

## おすすめ散策コース コース全長、約 7.0km (所要時間、約 2 時間)



**金杉さくら市民の森**  
クヌギ、イヌシデ、ムクノキ、コナラ、エノキ等が見られます。